

シゲルくん通信

NEO

Vol.
116
2022年
12月
発行号

建物超寿命化支援企業の
株式会社シゲル・コーポレイションが
毎月発行する瓦版です

当社が協賛するBSNラジオ番組『石塚かおりのBrand new day (7:15~8:54)』内にて
毎週火曜日、引き続き当社のCMオンエア中です!!!



★やっぱり我々は新潟に住んでることを実感、
12月19日 新潟本社前の風景。この日は久しぶりに新潟市でも50cmを超える大雪!

こんにちは

【建物超寿命化支援企業】株式会社シゲル・コーポレイション
社長の増村文武です。

五黄の寅年だった2022年も残り僅かです。今年一年沢山の皆様から沢山の良きご縁とお力添えをいただきました。深く感謝を申し上げます。

さて、当社はタイル外壁建物改修に非常に効果的な工法を多数取り揃えておりますが、今回ご紹介しますクリアウォール工法もその一つです。来年2023年度からは長寿命化目的のマンション大規模修繕工事を行った場合に翌年の建物固定資産税が減免される特例措置も決定されました。タイル外壁の予防保全に最適なクリアウォール工法の当社実績動画は下記のQRコードより。当社ドローン撮影+私が編集を施した力作動画をご確認下さい。



◎忙しい時こそ慌てず落ち着いて

▲文・絵：ことだま千絵子

今月のトピックス

- I アロン店別管理士会を実施
- II 「クリアウォール」工法の御紹介

左から アロン化成株式会社 鈴木様、長谷川様
株式会社トーシン 古川様



(東亞合成株式会社製)

当社営業マンの提案力強化のために アロン店別管理士会を実施

11月25日(金)当社にて、アロン店別管理士会を開催致しました。

アロン化成株式会社長谷川様・鈴木様、株式会社トーシン 古川様にお越しいただき、お客様への提案力強化のためのミーティングを実施しました。押出成形板外壁への改修仕様の提案、ガラスブロック外壁へのクリアウォール採用事例、タイル外壁 深目地タイルへのクリアウォール吹付 採用事例等について意見・情報交換を行いました。

ハイソリッドアクリルウレタン系 タイル張り仕上げ外壁改修工法 クリアウォール工法

近年の当社施工実績は下記ドローン竣工動画より
ぜひ御確認下さい

株式会社サンロイヤル新潟様



新潟市立横越総合体育館様



ひび割れ追従性能

ひび割れは温度変化で伸縮します
クリアウォールはひび割れ追従性に優れています



透水遮断性能

目地のモルタルからは
雨水が浸入しますが
クリアウォールで防止できます



	透水量(mL/㎡·h)
クリアウォール	0
未塗布	765

試験方法: JIS A 6909 透水試験B法

◆ クリアウォール工法の特徴 ◆

タイル外壁建物の剥落予防保全、長寿命化と資産価値の向上、
ライフサイクルコストの低減に寄与します

○予防保全型 ○クリアーナ塗膜

- ✓ タイル外壁建物の将来的な剥落事故に備えた予防保全工事が可能
- ✓ 柔軟性に優れた防水塗膜でタイル外壁面からの漏水不安を解消、
最長10年の外壁防水保証あり
- ✓ 黄変・白濁しにくいクリアな塗膜でタイルの持つ高級感・意匠を
損ねることなく修繕が可能
- ✓ ひび割れ処理等の簡素化により工期・コスト・工事音の削減が可能

連載第56回 今年のテーマ 『クリスマスにもう一度観直したい映画』



★今月のイラスト

『当社のブロックメモ帳とサンタは
愛称が良いかも』

自称、シゲル・コーポレイション内で一番の映画好き、増村文武です。

今年もあっという間に年の瀬を迎えました。

コロナも未だ完全終息には至らず、ウクライナ問題をはじめ暗く重い話題が多かった2022年でしたが、2023年はぜひ我々の思いが一つとなって、本当に良い年となりますように。そして本年もシゲルくん通信内本コラムをご愛読頂きまして感謝を申し上げます。来年もまだ続けます。選りすぐりの名作、怪作、珍作を引き続き御紹介致します。

ということで連載第56回目、今年最後のテーマは

『クリスマスにもう一度観直したい映画』です。



★毎月掲載している
挿絵はこちらからも
どうぞ。

①『ロング・キス・グッドナイト (1996年 アメリカ映画)』

『ダイ・ハード2』のレニー・ハーリン監督によるアクション大作。主演ヒロインのジーナ・ディヴィス嬢が逞しく大活躍する大好きな1本。8年以上前の記憶をなくした、ジーナ演じる主人公サマンサが海岸で発見されます。学校の教師を務め、夫や娘との平穏な日々を取り戻したサマンサでしたが、ある交通事故がきっかけとなり昔の記憶が断片的に蘇ります。クリスマス前の夜、突如刑務所から脱走してきた片目の男がサマンサの家を襲撃。ピンチの中で、ついに彼女は昔従事していたCIA特殊工作員としての記憶を覚醒させ、大反撃を開始。脇を固める探偵役のサミュエル・L・ジャクソンが本作でも彼流の存在感を發揮。女性版ダイ・ハードのような後半の怒涛の展開は今観直しても素直に楽しい。レニー・ハーリンとはこの頃夫妻関係でもあったかと思います(その後離婚)。ジーナ・ディヴィス主演作品では『テルマ&ルイーズ』も忘れられないですね。最近はめっきりお見かけすることが少なくなりましたが、王道女優の貫禄充分。

②『未来世紀ブラジル (1985年 イギリス映画)』

今でもカルト的なファンを誇る本作、テリー・ギリアム監督の発想力に脱帽しっぱなしの1本。20世紀のどこかの国が舞台、この国では強力な情報管理システムにより、国の情報省による国民への著しい管理・統制がなされていました。あちこちで爆弾テロが発生。そんな中、情報省当局がテロリストとして追っていた男の名前のスペルを打ち間違えて入力し、無関係な男が連行されることに。情報省に勤める主人公サムはこの誤認捜査の責任から逃げるために試行錯誤をしていましたが、最近頻繁に翼の生えた戦士の姿で囚われた美女を助け出す、奇妙な夢を見るようになっていました。そしてその女性は誤認の件で情報省に抗議にきていた女性ジルにそっくりだということに気づくのです。暗澹たる近未来のディストピア社会を描いた本作ですが、ギンギンな最先端デジタル社会とはかけ離れたノスタルジーを想起させる悪夢的社会風景が強烈、2時間強の映像すべてが個性と挑戦に満ち溢れたオンライン1本です。クリスマスが舞台となり強烈なサンタクロースも登場。本原稿を書きながら、このクリスマスにまた観直してみたくなりました(^^♪

③『ヒットマンズ・レクイエム (2008年 イギリス・アメリカ映画)』

独特な雰囲気を醸し出す、殺し屋を主人公にしたクライム・コメディ映画。ロンドンで仕事を終えたコリン・ファレル演じる主人公の新米殺し屋レイとベテラン殺し屋ケン。ボスであるハリーの指令を受け次の仕事地であるベルギーのブルッヘに向かいます。レイに対して面倒見の良いケンですが、やがてハリーから、ロンドンでの仕事で失敗を犯したレイを抹殺するように命令されてしまします...。本作、私も知見の無いブルッヘという西欧の街を舞台にしていますが、歴史の重み・長さを感じさせるクリスマス間近の街並みがとにかく映像的に綺麗。また、主人公のレイやケンも、殺し屋という職業に反してとても人間臭くて良いんです~。コリン・ファレルって不完全で不器用な男をカッコよく演じられる天才かも。迎えるラストもとても余韻深くて秀逸な作品です。コリン・ファレル主演で好きな他作品では、当連載第12回『フォーン・ブース』を紹介済ですのでご確認を。殺し屋を主人公にした印象深い他作品では、当連載第39回で紹介済の銀髪のトム・クルーズ主演『コラテラル』も良いね~

もし御興味が沸いてきましたら、皆様もぜひ一度御鑑賞を(^_-)-☆

